

#### 4. 環境設計による安全な市街地空間形成事例

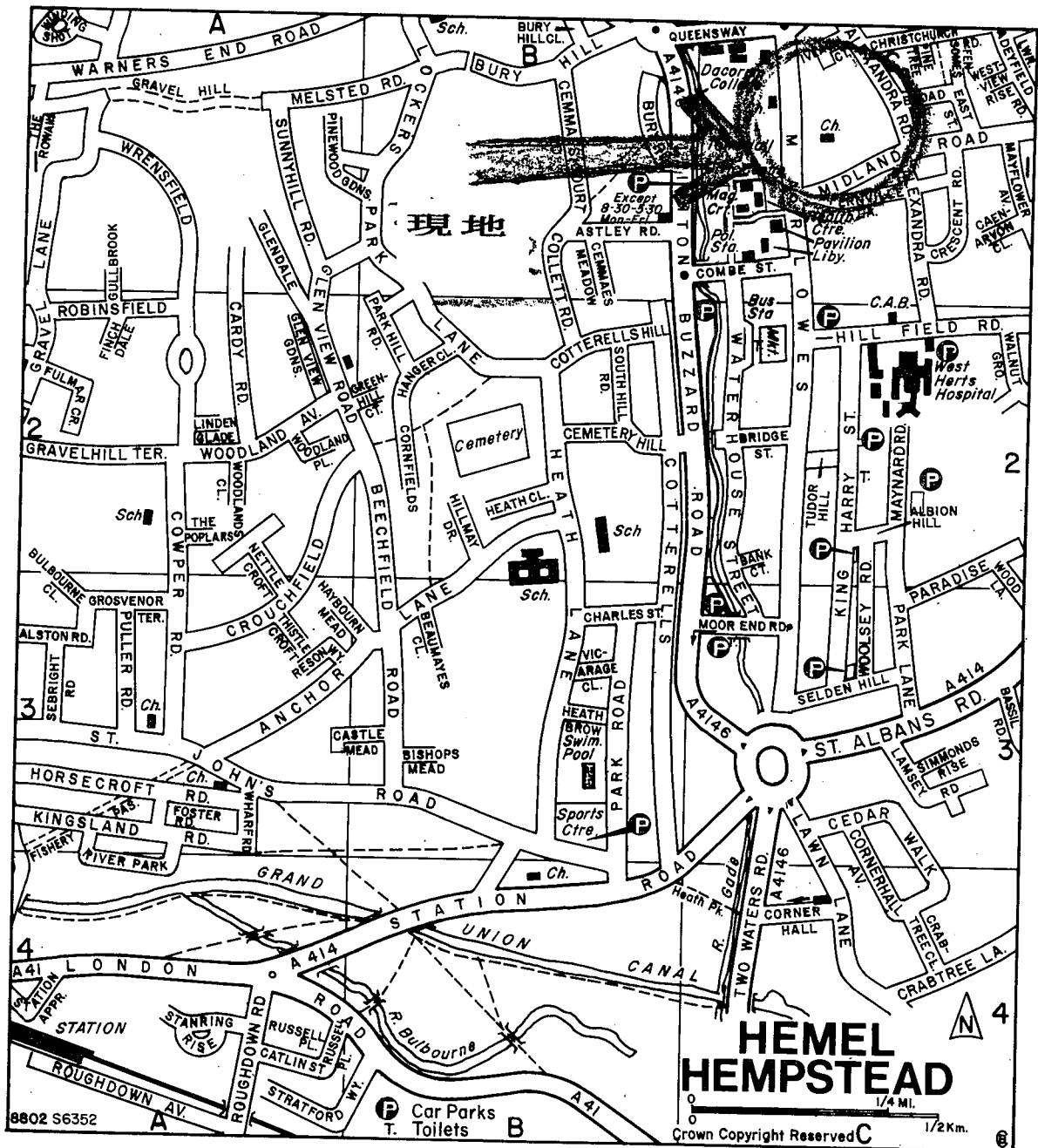
##### (1) Hemel Hempsteadの成功例

家屋だけでなく、市街地空間の安全強化が環境設計によって進められている。

その1事例としてHatfordshire州のHemel Hempsteadの新興住宅街が、英国建築家協会の元副会長であるJohn Onslaught氏によって推薦された(図4-7)。

即ち、先に述べたイギリスにおける環境設計による犯罪防止手法の基本的3原則、①領域性、②アクセス・接近コントロール、③監視性(見守りあい)の3軸がこのHemel Hempsteadの郊外住宅で十分に達成されている、ということである。

図4-7 Hemel Hempstead



● 領域性

この新興住宅街の全体的な形状は、基本的に階層（Cluster）的に組み立てられた袋状（Cul-de-Sac）となっている（図4-8参照）。また、この住宅街への出入りは、ゲートによって遮断されており、普段は袋の口が閉じた状態となっている。

写真4-1 袋状を形成するための仕組み（家屋の壁面。低い木材の柵）



写真4-2 袋状を形成するための仕組み（家屋はなるべく長屋建てにすることで壁面線を揃えて犯罪者の長入を防御するようになっている。しかし、間を開けて建てる場合にしても、その隙間は必ず、管理責任を明確にしたフェンスによって遮断されている。）

